

# 学級指導における保健指導計画と実践

— 養護教諭の立場から —

柳原小学校 養護教諭 岡 芳 子

## I はじめに

保健指導を行う究極の目的は、当面する健康問題に対して、児童自身自らそれに取り組み、問題解決をはかる実践力を養うことだといわれている。それを指導する教師には、一つには学習面で、長期的展望に立って、健康生活実践に必要な、科学的認識、判断力、思考能力の発達をめざす学習を進めることが要求され、一つには実生活において、現在の具体的健康問題に即した、実践力が身につくような生活指導を行うことが要求されている。要求に対処する段になると、暗中模索で私など折の連続である。しかし、現在の社会環境をみると、余りにも目まぐるしく複雑であるうえ、健康を阻害している物理的物質や化学的物質の数々は、多くの場合、自分では健康を願っている人の頭脳で考えだされ、人の手によって作りだされたものである。これからの社会にこんな矛盾が起きないように、起こさせないように、日々の生活の中で心の中に育てていかななくてはならないと私は思い、大きな教育効果を期待しながら、たとえ折の連続であろうとも地味な努力を続けている。今日も保健室へきた子の何人かに保健指導をした。とはいっても前記のようなことは含んでいだけで、その子の持つ保健問題の原因を分析し、基本的な概念から系統的に教えているわけではない。また子どもを見ていても、問題を解決するための実践力が身についているとは思えない。したがっていつもどうにかしなくてはと思い煩うばかりであった。たまたま46年指導要領の一部改訂で学級指導の中に保健指導の時間がとれるようになった。47年本校も改訂の趣旨をくみとり、その研究体制をとったので、私もその中に入れていただき学級担任と研究する機会を得たので、少し古いが以下研究の経過及び結果を述べ、まだまだ山積みされている問題に対し、みなさんからのご指導をいただき、また研究の機会を設けて、いつの日かその糸口を探りだし、難問題解決の道をたどりたいと願っている。

## II 実践の経過

### 1 学級指導における保健指導年間計画ができるまで

46年度の教育目標努力点、具体策の反省から、47年度は教育目標達成のため、9部門よりなる教育目標具体策推進委員会が設けられた。その中に「指導計画整備推進委員会」と称して、特別活動の推進、主に学級指導の指導計画充実と実践化を推進する母体としての組織ができた。このメンバーは、特活主任を中心に各学年1名ずつだったので、養護教諭としても、保健に最も関係が深いという理由でこの委員会に加えていただき、担任教師と共に情報交換をしながら、研究を深め、必要な質問や提案などすることができた。

#### (1) 原案の作成 (特別活動全体指導計画と称し学級指導に含む13項目全部を網らしたもの)

##### ① 全体指導計画作成に対する基本的留意事項の確認 (特別活動指導上の諸問題P113参照)

- ア 児童の発達段階に即応し、指導内容を精選する。
- イ 学校、児童の現実的条件に照らし、どの指導内容を特設時間に持っていくかを検討する。
- ウ 地域、社会の特性や実態からみて、実態に調和し、浸透させたいものを入れる。
- エ 他領域との関連をみる。(体育 理科 社会 家庭・・・)
- オ 児童の自発的な学習活動が期待される内容であるか検討する。



・保健学習の補足も考えた資料を作成してみた。

5.6年の体育10%の時間が学習になっているが、完全に学習ができず、保健指導の時間に保健学習の形態をとることがよくあるので、指導資料に学習面の内容を含めたものを作成してみた。(特に49年に出た性教育資料など)

① 領域外における保健指導(保健管理に伴う保健指導)

目的や理念は⑦で行う指導に同じであるが、異なる所は、疾病異状のように健康問題の解決が、直接、かつ緊急を要する場合が多いので、養護教諭が個別に、あるいは、グループ別に直接児童に指導をする場合が多いので、担任との密接な連絡が必要である。

(2) 指導計画整備推進委員会の開催 (47年度)

① 第一回目の主な協議事項

ア 全体計画作成に対する基本的留意事項の確認に関する共通理解

イ 原案作成のための指導項目の分担も

次回までに、学年別に指導項目の主題名を入れてくることに決定した。

ウ 養護教諭としては、保健指導の分野を担当

・主題名の配列については、文部省で示した「学級指導における保健指導」の指導目標と内容を参考にした。

・精選した指導内容とその理由

精選した内容	精選の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断に関するもの(事後処置を含む)</li> <li>・からだの発育に関するもの</li> <li>・疾病異常に関するもの(以上1年～6年まで通して入れてみた)</li> <li>・性の発達に関するもの(4年から入れてみた)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼心が強く発育に関する不理解から、必要以上に心配したり、神経質になる傾向がみられる。</li> <li>・自己防衛能力があり、そうとうの病気まで自分の力でなおせることを理解させ、薬の乱用をさける。</li> <li>・子どもほど積極的に心身の鍛錬が必要なことを理解させる。</li> <li>・疾病に対し断片的理解を、正しく系統的に理解させたい。</li> <li>・4年頃になると生活の中に性差による問題行動がみられるので、性の正しい理解と男女協力の美しさを理解させたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・う歯予防に関するもの(4年を除く全学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疾病率の最も高く治療率の低いう歯対策の向上徹底を図る。</li> <li>・予防の重要性を理解させ、予防生活の習慣が家中にまでいき、次に生まれる子には弱い歯質の子がいないようにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近視予防(正しいしせいを含む)3年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・46年度視力異常者が全国平均の倍近くもあったので、仮性近視の初期で、治療効果もよくできる3年をえらび、この時期に確実な予防体制が身につくようにしたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜ、インフルエンザの予防、冬の健康を阻害するもの(3年を除く全学年)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不規則な生活面よりきていることが多いので、生活訓練と根性作りが必要と考えた。</li> <li>・公衆衛生の立場から伝染病の時の対処方法を理解させる。</li> <li>・戸外運動、栄養、換気等の必要性を理解させる。</li> </ul>

・けがの手あて  
(文部省の指導内容には  
ないが、4年にいれた)

・けがの原因に、不注意、柔軟性や機能訓練、技術面の未熟さからくるのが、4年ごろから目立ちますので、あそびの安全の方に入れたかったがいられないので保健指導に入れ、けが防止のための準備運動や安全の確認、簡単なけがの手あてが自分でできるようにする・・・

・以上のように、本校児童の実態より最も指導しなければならない内容を選び、発達段階をふまえて配列してみた。

・主題名及び内容の重複をさけるようにした。

## ② 第二回～第五回までの主な協議内容

- ア 作成した原案の検討                      イ 指導のねらいの検討  
ウ 指導内容の検討                        エ 指導資料の位置づけ  
オ 展開計画の作成、計画は立てたが、学級指導の時間の確保がむずかしく、情報交換するのみで終わった。

・保健指導については、小教研保健教育部の研究とあいまって実施したため 1～4年までの 1部に展開計画ができ、資料の位置づけもできた。

## (3) 特別活動全体指導計画の樹立

指導計画整備委員会で作成した原案は、教育目標具体策推進委員会で検討され、更に、運営委員会で検討され、全職員の共通理解をはかるため、職員会議にかけられ、原案で実施することになった。特別活動全体指導計画は、48年度頭初特活主任により全職員に配布された。ここに学級指導における保健指導の年間計画も樹立され、実践の運びになった。(資料1)

## 2 学級指導における保健指導計画の活用

### (1) 小教研保健教育部会の研究とタイアップ

47年度は、小教研保健教育研究部においても、改訂された指導要領に保健指導の分野が取り入れられたことを喜び、意気高くしてこの問題を研究課題にとりあげた。

- ・課題「学級指導における保健指導の望ましい展開はいかにあるべきか」  
・研究方針    a 保健指導の授業研究をとおして展開計画を作成する  
                  b 保健指導の標準化をはかる  
                  c 展開計画作成過程において情報交換をし望ましい保健指導のあり方について研究を深める

としたので、私にとっては、またとないよい研究の場で、他校のようすもわかり、暗中模索の域にかすかな光を感じ、効果的な指導ができるようその指導資料作りに努力した。

### ① 公開授業研究

#### ア 公開授業研究

- ・47年6月23日 指導者 小高良夫教諭 主題名「けがの手あて」 4年  
小高先生の取り計らいで、授業に養護教諭の指導する分野を入れてくださったので、養護教諭としておよばずながら、お手伝いをすることができ、初めての試みだった。

#### イ 参観者の感想

- a 始めて保健指導の授業をみて、保健指導のあり方がわかった。  
b 体育科の保健学習と保健指導の関連。ちがいがわかってきた。  
c 養護教諭と一緒にやるのもまたよいものである。効果をあげる一つの方法か?  
d 資料の必要性がよくわかった。

e 全体としては、新分野であるので、まだ多数の疑問点、問題点があるように思い、納得しない点があるのだけど、そのわからない点がみつげだせなかった。

② 展開計画作成に当たって学年内授業研究を実施

ア	主題名 「きれいなからだ」	1年	指導者	古矢 ふじ教諭
イ	「よいしせい」	1年	〃	小林 一子教諭
ウ	「正しい歯のみがき方」	3年	〃	中村 節子教諭

- ・いづれの先生もベテランではあるが、初めてであるので、学年の先生方に見ていただき、お互いに
- ・指導計画の内容は発達段階に即しているか
- ・展開のしかたはどうか
- ・自発的な学習活動ができたか
- ・実践活動が身についたか
- ・使用した資料内容は適当であったか
- ・その後も良い習慣が身についているか
- 等次回に実施する方のために
- ・反省を加えておいた
- ・この外に 2年「おなかの虫」 4年「男女のからだのちがいがい」等公開はしなかったが授業研究され、それぞれ展開計画が作成された。

保健指導については、時間の確保がむずかしいといながらも、実施した教師、見た教師共々、実施してよかった、実施すべきだ、という意向により 何か盛り上がりを感じて、指導資料作成のために費やす時間が多くなっても、なおもっとよい資料作成のために研究したいという意欲に燃えた。

③ 2年目の授業研究 (48年度)

ア 主題名「よいしせい」 2年 指導者 小暮 洋子教諭

- ・昨年1年で実施した資料により指導内容を整備し2年に使用してみた。指導資料も昨年の反省から、朗読した作文を紙芝居に作りかえてみた。見ている子どもの様子から、この方が効果的だった。指導者の講評にも その点が指摘されたとか うまい絵とはいえないが、作った者としては大変うれしかった。

イ 性教育関係の指導内容が、保健指導の時間にはいる

年度末になって、市教委より「性教育のための指導資料」教師用が配布になり、更に児童用、父母用も配布になるという通知があったので、三月の指導計画整備委員会で話しあい、高学年は1時間の増、中学年以下は類似している指導内容を性教育の時間にふりかえ、性教育の指導内容は、市教委配布の指導資料により本校にあったもの、教える教師にあったものを作成する。そして、49年度より実施することにした。

ウ 時間の確保がむずかしくなった学級指導

- ・学級指導を成就しようとする、担任の持つ主要教科の時間が減る、その他色々の理由があり、学級指導の必要性はわかっている、時間を特設して実施するには、どうしても抵抗を生じた。この悩みは高学年ほど強くなった。

3 自然解消をした指導計画整備委員会

○ 48年度指導計画整備委員会年間計画

- ・学級指導計画の改善(主題の検討、内容の改善充実、資料の整備と活用)
- ・学級指導の展開計画作成 および検討 (各学年、各学期ごと 1主題について作成)
- ・指導計画全般について検討を加え、次年度活用できるようにする。

2年目を迎えた整備委員会は、特別活動全体指導計画を全職員に配布し、その実施方を依頼したので、本年度の年間実施計画を以上のように樹立、毎月開催を予定した。しかし時間の確保は、47年度よりむずかしく委員会の開催も遠のき、開いても情報交換に終わり進展をみるのがなく、展開計画もできないまま、年度末を迎えた。最後の反省会の折、性教育の指導内容を入れることに話が波及し、学級指導のあいろを話し合ったが、現在の教

育過程のままでは、よい改善策をみつけだすことはできないという結論になった。

- 49年度は、保健指導の面のみ、性教育を加除訂正して出し（資料2）特活主任がその趣旨を説明し、実施方の依頼をしたのみにとどまり、指導計画整備委員会は自然に解消した。養護教諭にとっては、情報交換の場が閉ざされたことになり、今後はどこの戸を開けるか、保健指導の進め方に難関が生じ、更にこのことについて熟考のうえ、問題の解決に向けて努力しなければならないと思っている。

## 結果の考察

### 1 研究不足だった指導内容

#### (1) 児童の実態よりみた指導内容の分析

（保健指導計画についての一提案、小高教諭調査より抜すい）

- ① けがの手あて 4年の時実施 当時の目標、かんたんな手あてが、できるようにする。
  - ア 日常生活における目標の定着化を見る（5年児181名のアンケート結果6月実施）
    - 4年の授業が けがの手あてに役立っていると思う人 21.2%
    - 過去1年間に けがをしたことのある人 96.7%
      - イ 結果
      - 授業当時は、喜々として学習に参加し、自発的にやっているように見えたが、教師の期待に反し、定着はしていなかった。
    - ・このうち自分で手あてをした人 44.0%
    - ・〃 先生や両親にもらった人 44.7%
    - ・〃 友人がした人 2.8%
    - 自分、または 友人のする手あての消毒のようす
      - ・完全と思われるもの 54.7%
      - ・不完全と思われるもの 45.3%
        - 不完全の理由 たいしたことがない 94.1%
        - めんどうだから 5.8%
  - ② 歯に関する指導「歯の働きとう歯の進行」 目標 う歯予防と早期治療の必要性を体得
    - ア 日常生活における う歯予防と早期治療の定着化を見る（5年児181名対象 6月実施）
      - 本年度学校より治療勧告をうけた人 53.4%
        - イ 結果
        - 約半数が治療してない。治療勧告後時期も早かったが、治療しない理由をみると、めんどう、時間がない、これでは不可。
      - ・6月11日現在治療に行っていない人 45.4%
      - ・治療しない理由
        - めんどう 41.7%
        - 時間がない 33.3%
        - 痛いから 8.3%
        - 必要がない 8.3%
      - 歯みがきの実態を見る
        - ウ 結果
        - 夜みがいている者が少ない。食後にみがいた方がよいと思っているものが21%とは意外に少ない。
      - ・毎日 みがく人 89%
        - このうち朝（食前）にみがくもの 80%  
（このうち食後がよいと思っているもの21%）
      - ・歯をみがかないもの 11%
        - （みがかない理由 めんどう 100%）

### 2 保健指導（性教育を含む）に関するアンケートに現れた教師の意向

#### (1) 時間の確保がむずかしい。とりくむ意欲がうすい。

- ① 設問 「保健指導の展開にあたって 障害となっていると思われるものを2～3あげてください」 で 9月全職員に実施。この時あげられた問題点の項目を多い順に列し、それがどう変容したか、2月同じ設問で再調査をしてみた。

② 保健指導の展開にあたって、障害となっていると思われる事項

1 回目（9月）のアンケート結果 集約した 問題点（多かった順にあげた）	その後も左記問題事項 が続いている場合×印	その後解決さ れた場合○印
1 学級指導の時間の確保がむずかしい	XXXXXXXX の数 11 XXXXXX	○の数 8
2 掛図やスライド等 指導資料の収集が不足	XXXXXXXX の数 14 XXXXXXXX	○の数 5
3 時間数が少ないので学校全体の盛り上がりがない	XXXXX 4	
4 児童にも教師にも必要感があまりない	XXXXXX 5	○の数 1
5 指導資料の指導内容が明確でない		○の数 2
6 授業の展開を実際に見せてもらう機会がないので 自分のやっていることがこれでよいか不安	XXXXXXXX 11 XXXXXXXX	
7 取り組みに対する意欲がうすい	XXXXXXXX 10 XXXXX	
8 家庭の意識が低い、家庭環境に差がありすぎる		
9 少しの時間を利用して、そのつど指導している		○の数 2

③ 結果 全職員の回答が得られなかったが、要約してみると

- ・ 1 番に多かった時間確保は、低学年に解決された先生が増加した。
- ・ 2 番は、今回トップになった 即刻研究し整備していかななくてはならない問題である。
- ・ 6 番だった「展開の実際を見せてもらう・・・」は、低学年において解消しているにもかかわらず多くなっている。関心が深められているものと思われる。
- ・ 7 番だった意欲の問題が多くなっているのは、今後よく考慮しなくてはならない難問題である。
- ・ 5 番の問題は、解決した者 2 人の外は、反応がなかったのをみると、特別活動全体指導計画のよみ取りが浅かったのではないかと思われる。

3 考 察

(1) アンケートの結果から考える

① よい習慣を定着させるために

- ・ 定着化をはばんだものは何か
- ・ 子どもの心を変容させるものは何か
- ・ 「めんどろ」これを解決する強力な指導内容は何か

子どもは、消毒の必要も、予防の知識も、早期治療の必要性も、知識としては知っていた。作成された指導内容には、知識として知っている範囲までしか指導してない くらいがあった。児童が真に必要としているものを適確に判断し、それに合せて教材の精選を行うことの必要性がわかった。実態をつかむことのむずかしさもわかった。

「小高先生の考察の言葉を借りて記せば

○望ましい習慣としての定着化は

事前調査 教材の精選 子どもが必要としているものの指導」

となる。簡潔にして深みのある内容を含むこの方法 大変よいと思う。時間確保のむずか

しい現在、必要な事前調査をどこでやったらよいか、今後の研究に期待する。

- ② もりだくさんすぎた指導内容を、実態にあわせて精選しなおす。

各学年とも、文部省では11時間を予定して作成した指導内容であったため、本校に即した内容を選んだわけだが、時間数に制限(4時間)があったため内容を手広くいれすぎた。これは、指導された教師全体の反省の声でもあった。

- ③ よい習慣の定着は、特設された時間だけではできない。短い時間の指導にもよい指導資料が必要、特に保健は、日常生活に期待することが多い。

事実、担任も、随時、随所で指導しているが、指導がどうも一方通行で、同じことのくり返しのように思われるので、年間指導してほしい内容を一覧表にしてみた。(資2)特に習慣化してほしい内容については、年間2度(1学期と2学期以後)とった。これにまだ評価を加えなくてはならないが、そこまでいってないので今後研究をすすめたい。

- ④ 教師にもっとゆとりを、話し合える時間と組織がほしい。

知識もあり必要性も知っている。指導すればその結果はよくなることもわかっている。しかし時間がとれない、指導したいが意欲がでない、この原因はどこにあるのか?

教職40年を経たある校長の述懐によると「今最もデモクラシーの時代でありながら、公教育においては最もデモクラシーのない時代。学校の特色が全くだせない。教育課程の改訂は時々あっても、その都度高度化し、ぼう大化している。教師側は勤務条件うんぬん・・・ということで、やらなくてはならないことがわかっているがやれない現状にきている。消化しようと努力する人も、人の能力には限界がある。今まさに公教育は、まことに憂慮すべき状態にあるといえよう・・」全くと思った。精選しようとしてもその基盤はなく、個人にまかせられている現状では、みんなで話し合う時間を生みだし話し合っていかなければ、問題は一つも解決されないのではないか?

また、高橋学校教育課長が、一中の公開研究の席上次のように述べている。「教育課程に示されているからそれを固執するというのは怠慢な教育者、現在の社会を乗り越え将来に向けた教育をするなら、もっとユニークに、よく話し合いよく研究しあって精選し、教育課程に改善を加えるような教育者、それがこの道に精進する真の教育者であろう」と。

- (2) 学級指導における保健指導を高めるために養護教諭の立場で考える。

- ① 保健指導に対する基礎概念を明らかにし、共通理解を持つ。

ア 学校として、個人として 保健問題をどうとらえるか、そのとられ方、正確には握する事前指導の仕方をどのようにするか。

イ とらえた問題の処理について 子ども自身で改善していくには、どんな手だてをアドバイスしてやるのがよいか。

ウ 疾病を予防し、更に健康増進をはかる実践力を養う手だては、どんな方法がよいか。

- ② 学級指導の時間を週プロに位置づけ、その時間に当たった教師が指導する。(担任外の時あり)

- ③ 指導法、教授資料の研究をする。

ア 児童の自主的思考を促し、わかることの喜び、やることの楽しさを与える指導。



- イ 自分からやってみるという興味と意欲をそそる資料の作成と整備
- ウ 領域外で実施している保健指導のうち、生の資料をとらえクラスに持ちこんでいかす。
- エ 養護教諭と協同研究をする態勢を作る。(「養護教諭による指導についても考慮する」とその必要性が、手引き書や保体審の答申にもっている)

④ 領域外で実施している保健指導を再検討する。

- ア 随時、随所で生活面より指導している保健指導に系統性を考慮する。
- イ 養護教諭はこの分野が大半であるので、この分野の研究を深め、担任との連絡を密にする。

⑤ 養護教諭として

- ア 学校運営に対して積極的に参加し、広い視野を持ってその目的にマッチした指導ができるようにする。
- イ 教育理論を勉強し、担任の要望をもっと受容できるようにする。
- ウ 資料作成に当たっては、前記の項をふまえ、児童の発達段階に応じたものを作成する。
- エ 教職員全体の関心を高めるため、組織活動を通して常に働きかける。
- オ 保健の問題は、家庭の影響が大きいので、家庭に根気よく働きかける。
- カ 親切、明朗、信頼など子どもの要求に添い得る 望まれる養護教諭としての人間性を養う。
- キ 保健室を無料薬品配布の場から、健康人が更に健康生活を行う上の研究や、交流の場にイメージチェンジする。

Ⅳ おわりに

保健指導は、生活全般であるうえ、家庭環境とりわけ母親のあり方が大きく影響するので、これを学校で徹底しようとするには、ぼう大で精密な計画の立案とその実践に根気がいり、全く大変なことであるが、それでも、現在社会をみると、どうしてもゆるがせにできない大きな問題が多々あるので、新鮮で柔軟な子どものうちに、生命のたくましさや創造して生きるすばらしさを焼きつけておきたい。そして、自分はもちろん、人のためにも惜しみなく愛をわかち、住みよい社会ができるように、今から毎日を自分のすべての力で健康に生きる・・・という習慣が身につくようにしたいと願っている。同時に、超人的体力と能力が、養護教諭の主体性の有無にかかわらず、最低条件として要求されそうな現在、それに対処できるよう努力はするが、とうていできないので、養護教諭の真の執務は何か？ についてみなさんに御理解方をお願いしたい。

最後に この研究をまとめるのに御協力をいただいた保健教育部長の大月小売野校長、柳原小高教諭ほか諸先生方に対し、深く感謝をし 厚くお礼を申しあげる次第です。そして、今後もおのこの道進展のため深い御理解をよせ、養護教諭の前途に光明を点じていただけることを、お願いしたい。

学年 月	1 年	2 年	3 年
4 月	<p>◇健康診断をうける前にして ○健康診断をうけるにその 前におこなうことなら ないことなら ・体の清潔さ ・名前をつける 計測の正しいうけ方</p>	<p>◇からだや衣服の清潔 ○からだや衣服を清潔にさせ衛 生に気をつける ・きれいなハンカチ2枚持つ ・手足の爪 きれいな下着 ・清潔なねまき ・健康診断を受ける準備</p>	<p>◇目、耳、はな、のどの病気に ○目、耳、鼻科の病気に防いで せ、ふだんから子防に心がける 気にかかったら早く治療する がけをもたせる ・目の病気とその注意(うつる病 気) ・耳、はな、のどはつながっている ・はなのかみ方、耳あかのとり方、 ふだんの注意</p>
5 月	<p>健康診断の正しいうけ方とあとし ○自分のからだの様子を知り衛 生に関心をもたせる ・正しいうけ方(目、耳、はな 等の検診) ・レ線、ツ反、BCGをうける とき ・悪いところがあつたら早くなおす</p>	<p>おなかの虫 ○おなかの虫の害とうつり方や 防ぎ方を理解させる ・かい虫、ぎょう虫 ・寄生虫のうつり方 ・手の清潔</p>	<p>近視の子防 ○近視のおきる原因を知りその予 防につとめさせる ・近視のおきるわけ ・目と本のきょり ・テレビの見方 ・本を読むときのあかるさ</p>
6 月	<p>乳歯のはたらき、良い歯を作る もの ○乳歯のはたらきをしり正しい みがき方をわからせる ・食物をかみくだく ・永久歯の出るはんとを ・食べものが(蛋白とカルシウム) ・歯のみがき方 ぶくぶくうがい</p>	<p>歯のはえかわり ○むし歯とその部分について理 解させる ・自分の歯に関心を持つ ・歯の働きについて知る ・歯の大きさや形、むし歯とよ い歯のちがいを ・歯みがきの大切さの理解</p>	<p>正しい歯のみがき方 ○う歯のおそろしさを知らせ正し くていねいな歯ののり方を通 解させう歯にならすぐ通 する心がけを ・よい歯ブラシ、悪い歯ブラシ ・みがく順序 ・みがいたようす調べ ・う歯の原因とおそろしさ ・早期治療の大切さ</p>
7 月			
9 月			
10 月			
11 月	<p>じょうずなうがい ○冬はうつりやすいかぜが流行 する ・かぜひきうつるかぜ ・がらがらうがい ・外で元気にあそぶ</p>	<p>せきとマスク ○かぜの予防について理解させ る ・かぜでとぶばいきん ・うつるかぜとあついマスク ・外で元気にあそぶ ・汗のしまつとうがい</p>	<p>正しいしせい ○よいしせいとはどんなしせいか を理解させよいしせいを保つよ う努力させる ・よい時と悪い時の背景 ・自分にあった机、いす ・よいしせいと勉強の能率</p>
12 月			
1 月			
2 月			
3 月			

◇主題名

○指導のねらい

・主な指導内容

4 年	5 年	6 年
<p>病気や異常があるとき</p> <p>○健康診断の結果から自分の発育成長を知らせ、疾病と治療について理解させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発育や成長</li> <li>・骨や筋肉の成長（関節の痛み）</li> <li>・体温の正しいはかり方（脈の計り方）</li> <li>・やせすぎ、ふとりすぎ</li> </ul>	<p>健康診断をおえて</p> <p>○自分の体の発育や特色、欠点をめ知り健康についての意欲を高めよくないところの治療やきょう正をする意欲を高めこれを実践する計画心構えをもたせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の健康状態の確認（成長、きょう正）</li> <li>・自分でできるきょう正とその意欲づけ</li> <li>・治療計画（通院計画、心がまえ）</li> </ul>	<p>自分の発育</p> <p>○発育のようす、変化に気づき正しい理解のもとにより健康的な生活をさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の身体の発育と体力</li> <li>・6年間の発育表作り</li> <li>・体力を伸ばす努力目標作り</li> </ul>
<p>けがの手当と予防</p> <p>○けがを予防するにはどんなことか心がけたらよいかを考え注意する態度を身につけさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがの原因、あぶないあそび場所</li> <li>・けがの手当てのしかた</li> <li>・いろいろな薬とそのつけ方（オキソフル、マーキロ、ヨードチンキ）</li> </ul>	<p>からだの不調とかかりやすい病気</p> <p>○かぜ、胃など日常かかりやすい病気になった時の注意とその予防</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜ、胃腸炎の症状</li> <li>・病気にかからないための日常生活の心がけ</li> <li>・児童相互の健康観察</li> </ul>	<p>疲労と回復</p> <p>○運動や作業による疲労とその回復との関係を理解させ運動や学習後に適当な休養をとらせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疲れた時のようすと疲れのとり方</li> <li>・すいみんと栄養</li> </ul>
	<p>歯の働きとう歯のようす</p> <p>○歯の働きとう歯のようすについて知らせ早期治療の必要性を理解させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯のはたらき</li> <li>・う歯の進行状態</li> <li>・早期発見、早期治療の必要性</li> </ul>	<p>歯そうのうろう</p> <p>○歯と健康との関係を理解させ進んで歯の病気の予防をさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯肉の病気</li> <li>・う歯の予防</li> <li>・歯肉のまさつと歯みがき</li> </ul>
	<p>男女の特性</p> <p>○子どもからおとなへのからだの変化に気づかせ正しい処置ができて健康増進につとめさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男子と女子のからだのちがい</li> <li>・体力差、性差による発育のちがい</li> <li>・男女の協力</li> </ul>	<p>初潮について</p> <p>○発育にともなう身体の変化や男女の特性について知りお互いに協力しあう好ましい態度を養う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女のホルモン</li> <li>・メンス</li> <li>・夢精について</li> </ul>
<p>冬の健康</p> <p>○冬にかかりやすい病気などの予防冬として進んで戸外運動したり冬の衛生に気をくばらせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬にかかりやすい病気と予防法（うす着と保温）</li> <li>・戸外運動や冬の衛生（うがい、手洗い）</li> <li>・空気のごれといれかえ</li> <li>・びび、しもやけ、やけどの手当てと予防</li> </ul>	<p>かぜとインフルエンザの予防</p> <p>○冬にかかりやすいかぜやインフルエンザの予防を身につけさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜとインフルエンザのちがい</li> <li>・かぜとインフルエンザの予防</li> </ul>	<p>予防注射</p> <p>○伝染病と予防注射との関係を理解させ健康な生活をするため予防注射を進んでする態度を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝染病と予防注射</li> <li>・めんえき</li> <li>・予防接種、前後の注意</li> </ul>
<p>男女のからだのちがい</p> <p>○4年生ごろになると男女の特性が理解され体格に差が認めあうようになり、発育のようす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の発育のようす</li> <li>・男らしさ、女らしさ、男女のちがい</li> <li>・男女の協力</li> </ul>		

月	目 標	1 年	2 年	3 年
4	自分のからだのようすを知る 美しい学校	◎ 健康診断を受ける前 にしておかなければ ならない 計測のしかたを知る	◎ 健康診断のじょうず なうけかた ◎ おなかの虫、うつる 虫	◎ 目耳鼻のどの病気 ○ 身のまわりのせいり せいとん
5	からだや衣服の清潔 正しいしせい	◎ きれいなからだ (性) ○ よいしせい	◎ きれいなからだ (性) 清潔な衣服 ○ いろいろなしせい	◎ 近視の予防 ○ テレビを見るときの しせい
6	う歯予防 つゆどきの健康	◎ 乳歯のはたらき よい歯をつくるもの ○ 上手な手の洗い方	◎ 歯のはえかわり ○ たべ物とはらいた	◎ 正しい歯のみがき方 ○ 手のばいきんとうつ る病気
7	夏のたんれん (プール) 夏をたのしくすごす	プール使用上の注 意 ○ 早ね 早おき	プールでおよぐ ○ 外へ出るときぼうし をかぶる	○ 水泳のきまりを守る ○ ねびえの注意
9	あそびと安全 きれいなからだ	あんぜんなあそび ○ きれいらからだ (手・足)	○ すりきずやまめの手 当て ○ 清潔なねまき	○ あそび場の安全 ○ 手足のつめ、きれい なハンカチ
10	目の愛護デ ー 正しいしせい	○ 目の病気と清潔 ○ よいしせい	○ 目と読書、あかるさ ○ テレビをみるときの しせい	○ 目の病気と予防 ○ 立っているとき歩く ときのしせい
11	かぜの予防 う歯予防	◎ 上手なうがい (ガラガラうがい) ○ ぶくぶくうがい	◎ せきとマスク ○ 水のみ場の上手な使 い方	◎ みんな仲よし(性) ○ たべもののかみこな し
12	冬の健康と たんれん お正月をた のしく	○ 外であそぶ ○ きめた時間に眠り、 起きる	○ からだや衣服の清潔 ○ こたつに長くもぐら ない	○ マラソンをするとき の注意 ○ ふろに入ったら早く ねる
1	寒さに負け ない 上手なうが い	○ なんでもたべる ○ ガラガラうがい	○ しもやけやひびの予 防 ○ あそびとうがい	○ うす着とあつ着 ○ かぜとうがい
2	たのしい学 校生活	○ みんなで遊ぶ ○ 教室をきれいにしよ う	○ 楽しいなわとび ○ 校庭のゴミや石を拾 う	○ 自分の力に挑戦する ○ 汗のしまつ(友人に もしてあげる)
3	耳の日 1年間の反 省	○ 耳のけんさ、鼻のか み方 病気で何日休んだか	○ 音のきこえるわけ ○ うつる病気にかから なかったか	○ 耳あかのつくわけ ○ 新しくむし歯ができ なかったか

◎長い時間(40分)の指導(1年~4年 4時間, 5~6年 5時間)

4 年	5 年	6 年
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 病気や異常があるとき しなければならぬこと</li> <li>○ 美しい学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ からだが不調の時の心え 自分でできるきょう正とかか りやすい病気の予防</li> <li>○ 便所の清潔</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 自分の発育</li> <li>○ 児童相互の健康観察</li> <li>○ 健康に適した日常生活の 実践</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ けがの予防と手当て</li> <li>○ 正しいしせい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ わたしたちのからだ (性) (共通)</li> <li>○ 机と腰掛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 疲労と回復</li> <li>○ 姿勢と学習の能率</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ からだや衣服の清潔</li> <li>○ 食べ物のえらび方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 歯のはたらき、むし歯の ようす</li> <li>○ はえやかかのぼくめつ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 歯そうのうろう 歯周囲炎</li> <li>○ 夏の伝染病、環境の清潔</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プールと病気</li> <li>○ バランスのとれた食事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公害(光化学スモッグ)</li> <li>○ 夏休みの健康生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 男女の協力(共通)(性)</li> <li>○ きまりを守る生活の実践</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ からだをきたえるあそび</li> <li>○ 汗のしまつ、はき物の清 潔</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ れんしゅうとけが</li> <li>○ 衣服の清潔と身だしなみ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>骨の発育とけが 集団の清潔のための自分 たちの活動</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近視の予防</li> <li>○ からだの働きとしせい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭で勉強するときのあ かるさ</li> <li>○ 作業するときのしせい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近視を予防するための生 活実践</li> <li>○ 能率としせい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 予防注射</li> <li>○ 歯のちりゅう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ かぜとインフルエンザ</li> <li>○ むし歯の再うしよくと予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ かぜのなおしかた</li> <li>○ 不正こうごうのなおしかた</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 冬のけんこう</li> <li>○ 外あそびや運動をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ やけどの手当て</li> <li>○ 食物の片よりをしない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の体力をふまえ自主 的にたんれんする</li> <li>○ 健康に適した生活を実践 する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日光と骨の発育</li> <li>○ めいわくをかけない うがいのしかた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 換気の必要なわけ</li> <li>○ 水のみ場がいつもきれい な方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部屋の温度と換気</li> <li>○ 集団の清潔のための自分 たちの活動</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 男女仲よし(性)</li> <li>○ 困ったことがあるとき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 男女の特性(男女別)(性)</li> <li>○ 便所の清潔</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 第二次性徴(男女別)(性)</li> <li>○ たのしい学校生活を送る ためにすること</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聴力検査</li> <li>○ けがの反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ へんとう炎の予防</li> <li>○ 病気治療の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中耳炎の予防</li> <li>○ 健康生活実践の反省</li> </ul>

○短い時間(朝・帰りの話し合い)の指導

## 評

学級指導における「保健指導」は、学級指導の目標達成の上から、その内容が位置づけられている。したがって、学級で行う保健指導は、最も具体的で実際的な指導が展開されねばならない。そのためには、学校保健全体計画からみて、各教科、道徳、特別活動との相互関連において、保健指導を行う必要がある。

以上のような観点から、本研究について考察してみると、次の点が考えられよう。

第一には、3カ年にわたり計画的に積み上げられた研究は、見逃せないと思う。特に、学級指導の年間計画に当たって、「指導計画整備推進委員会」が組織され、その組織母体に養護教諭の特性を生かし、内容の精選のため努力されていることである。保健指導の充実強化のため、養教の活躍が指向されている今日、他校においても参考にされたい。

第二は、学級指導における「保健指導」の実践的研究である。実際に授業を通して、指導改善が図られており、指導後のアンケートの実施結果から、担任教師と養教の協調を図るなどして、指導資料の充実に努力されたことは、価値の高い研究である。

今後の課題としていろいろ上げられているが、あせらずあわてずに解決されていくように心から希望する次第です。